

遺伝診療部

「ゲノム医療」について、メディア等で、お見かけなされたり、お聞きになられた機会があると思います。「ゲノ

ム」は、遺伝子「gene」と、すべてを意味する「one」が組み合わされた単語で、遺伝子をはじめとした遺伝情報の全体を意味し、一人ひとり異なっています。時に、個人の遺伝子の変化により疾患が発生する場合があり、「ゲノム医療」は、その個人の遺伝子情報をとくに、病因や治療法を特定する医療のことです。とはいっても、病因にはゲノム情報と環境的要因（生活習慣など）が複合的に関わり合っており、どちらが強く影響するかは、病気に異なりま

す。そのうちゲノム情報が発症に強く関係する病気に対し

当院では2020年4月1日（2024年3月31日）の4年間に113名の方の乳癌遺伝子検査（BRCA1/2）が実施されています。

また、乳癌卵巣癌症候群（BRCA1/2 遺伝子変異陽性）の数名の方が、予防的乳房切除術、乳房再建術をなされ、今後は、予防的卵管・卵巣摘出術を受けられる予定になっています。

乳がんや卵巣がんなど「女性特有のがん」を
遺伝子検査で調べ、診療をおこなう「遺伝外来」



乳腺外科

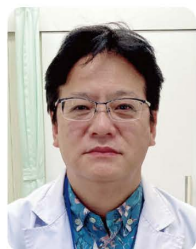
Breast Surgery Dr. Kenji Gonda

権田 憲士医師

遺伝外来

「家系内に同じ病気の人が多く、自分も病気に発症する可能性があるか知りたい」「医療機関で遺伝学的検査を勧め

ては、遺伝子情報を解析する遺伝子診断が適応となります。さて「ゲノム医療」は、個人のゲノム情報に基づいて行われるため、一人ひとりに合った病気の予防や治療（個別化医療）が可能となるのですが、稀に、ご家系内で、同様の疾患が見受けられます。そこで、その方に遺伝子診断をなされますと、同一の遺伝子変化が認められる場合があるのです。さらに、家系の中で、同一の遺伝子変化が認められた未発症の方には、定期的な検査（予防的医療）が推奨されます。生まれつき疾患に関係する遺伝子変化を持っている若年者（30歳代）も疾患になりやすい傾向がある場合には対策が必要になります（生まれつき持っている発症しないこともあります）。大切な家族の病気を予測して、大切な人を守りたい。そのような皆様の想いに寄りそっていきたいと思います。



公益財団法人ときわ会
常磐病院
乳腺・甲状腺外科 部長
権田 憲士

- 日本外科学会 専門医
- 日本臨床遺伝学会 専門医
- 日本乳癌学会 認定医
- 日本消化器病学会 専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医



られたが、こういったもののなか詳しく知りたい」そのような病気に関して話を聞きたい方を対象に、病気にに関する情報をお伝え（カウンセリング）します。病気ににかかっているかは問いません。特に、家系内にがん疾患が見受けられる方には、遺伝学的検査についてお話ししながら、さまざまな診療科と協力してがん予防を目指します。また、多数の遺伝子を同時に検査することが可能な多遺伝子パネル検査（multi-gene panel testing: MGP）も採用予定です。特に、当院は一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構認定の「遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）総合診療連携施設」です。遺伝学的検査の結果に応じて、当院婦人科（玉田副院長）、岡山大学臨床遺伝子診療科、福島県立医科大学乳癌外科講座と連携して、適切なサージベランス（定期的な精密検査）や、場合によってはリスク低減乳房切除術（BRM）やリスク低減卵管卵巣摘出術（RRSO）について一緒に考えて行きます。紹介状や当院の受診歴が無くても受診可能です。

（つづき）

ときわ会常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。



公益財団法人

ときわ会
TOKIWAKAI GROUP

常磐病院
Jyoban Hospital

(おもて面からの続き)

「遺伝外来」予約方法

①当院で外来受診している患者さんの予約方法

外来受診の際に直接外来担当医にご相談ください。別日の遺伝外来を予約致します。

②当院で外来受診していない患者さんの予約方法

(1)現在通院されている医療機関に予約依頼をなさってください。今受診している医療機関から、当院地域医療連携室へお申し込みください。

(2)遺伝性腫瘍カウンセリングについては希望があれば紹介状がなくとも受診可能です。ご本人ががんを発症していても、**血縁者ががんを発生している方が多いなどの理由で、遺伝カウンセリングや遺伝学的検査を希望されている場合でも受診可能です。**また当院の受診歴の有無も問いません。

がんゲノム医療外来

がんゲノム医療外来は岡山大学病院臨床遺伝子診療科がんゲノム医療外来と連携しています。
(<https://www.okayama-u.ac.jp/nao/hospital/index328.html>)より抜粋)

がんは遺伝因子や環境因子などの様々な要因で、体の細胞の遺伝子が変化して細胞が増殖のコントロールを失ってしまう病気です。がん細胞の遺伝子に起

こっている変化(病的バリエーション、変異)は、患者さん一人ひとりと、同じ患者さんでも細胞ごとに異なります。「がん遺伝子パネル検査」を用いて、がん細胞に起きている遺伝子の変化を調べ、がんの特徴に合わせた治療法をご提示することを目指します。「がん遺伝子パネル検査」では、患者さんのがんの診断や治療に役立つ情報を得るために、がんにおける多数の遺伝子を、一度に解析します。解析結果は医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、認定遺伝カウンセラー、バイオインフォマティシアンをはじめとした多職種専門家がらなる「エキスパネル」といわれる様々な分野の専門家会議で議論し、治療効果が期待できる薬剤や、参加できる可能性のある臨床試験・治験の有無を含めた、最適な治療法を検討します。

しかしながら、この検査を受けた方のうち、検査結果に基づいた治療を受けられるのは現時点で約1割程度に留まると想定されます。現在のところ約9割の患者さんは、この検査を受けても、検査の結果がご自身の治療に直接つながらない可能性があります。なお、この検査によって治療効果が期待できる治療法の情報が得られた場合でも、その治療薬の効果を保証するものではありません。

当外来は検査外来です。がん遺伝子パネル検査は、現在通院中の主治医の判断に必要な情報

を提供するものであって、検査後の治療は現在治療を行っている主治医の判断となります。この検査の結果が、主治医の判断よりも優先されることはありません。

なお、「遺伝性腫瘍関連遺伝子バリエーション保持者と関連腫瘍発症関連因子検討のための前向きコホート研究(中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究)」(岡山大学学術研究院医歯薬学域病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座 臨床遺伝子医療学分野 平沢教授)に参画し、今後の患者さんとそのご家族の健康のために情報提供させていただきます予定です。

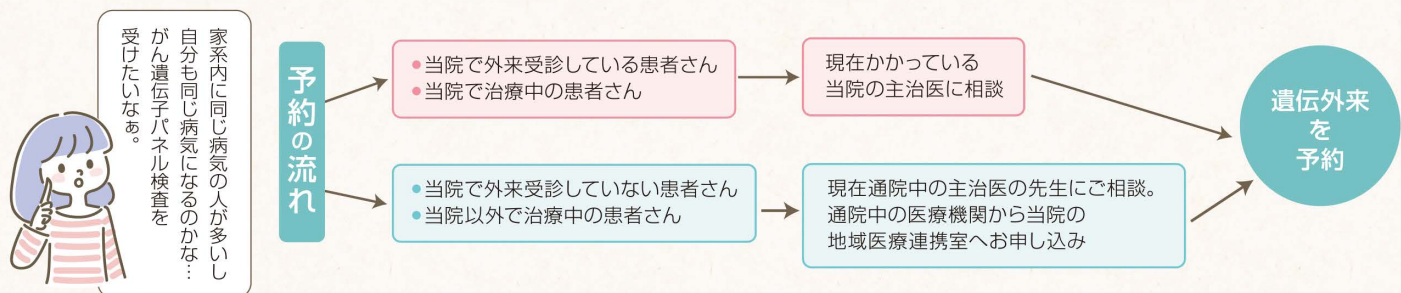
「がんゲノム医療外来」予約方法

①当院で治療中の患者さん

現在かかっている主治医にご相談ください。受診されることになりましたら、主治医から当院遺伝診療部外来に申し込みます。申し込み完了後、受診日の調整をします。

②当院以外で治療中の患者さん

患者さんからの直接の予約は受け付けておりません。(1)主治医に、当外来を受診希望であることをご相談ください。(2)主治医から当院連携室へお申し込みください。(3)申し込み完了後、受診日の調整をします。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。